



実行委員会メンバーと原さん(右から2人目)

新たな出会い発見!! 「オープンガーデン神鍋高原」初開催

原 清美さん(65歳)日高町万劫



初となる「オープンガーデン神鍋高原」の開催(期間:6月4日(土)~6日(月))に向けて、仲間と共に準備を進めているのが原 清美さんです。少子化や高齢化、人口減少で地域のにぎわいが衰退することを心配していた原さん。母の日のプレゼントのバラやアジサイなどの手入れを楽しんでいるうちに、個人の庭を公開するオープンガーデンを開催することで、地域のにぎわいを取り戻せないかと考えました。

だが、16の個人や団体が協力することに。パソコンやイラスト、会計など、それぞれの特技を生かした手作りプロジェクトがスタートしました。会議は熱気を帯び「地域のことをみんな心配していることが改めて分かった」ときずなや郷土愛も深めています。「会場が隣接しているので、歩いて回ることが出来る。ランチや手作り小物も準備するので、春の神鍋高原で新たな出会いをゆつくりと楽しんでほしい」と期待を込めます。※25ページに関連記事あり

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲カフェ兼パブリックスペースの様子

いずし観光センターリニューアルオープン 出石観光をさらに楽しく便利に!

3月18日、いずし観光センターのリニューアルオープンイベントとして式典や紅白餅の無料配布、ぜんざいの振る舞いが行われました。

観光客の増加や伝統産業の振興を目的として、インフォメーションコーナーや授乳室、カフェ兼パブリックスペース、出石焼の展示コーナーなどが新設されています。

4世代で旅行に来ていた荒木さん一家(丹波市・宝塚市・台湾)は「古い町なのにこんなにいろいろな物があると思わなかった」と出石の町並みや施設に驚き、日本より暑い台湾在住の海老根美藍ちゃん(7歳)と剣くん(5歳)は「日本のソフトクリームが食べられてうれしい!」と笑顔でした。

田んぼの学校

ビオトープで暮らす生物を調査

3月20日、コウノトリ文化館に隣接するビオトープで、田んぼの学校が開催され、約30人の親子らが生物調査をしました。

毎月第3日曜日に開催される田んぼの学校。月ごとにテーマを決め、田んぼやその周辺で遊んだり、生物調査をしています。今回の調査では、水際の草の中にいる生きものを網ですくい、種類ごとに分別。アカガエルのオタマジャクシやエビ、ゲンゴロウ、メダカなどを発見していました。

親子で参加していた板垣悠一郎君(8歳)は「オタマジャクシが卵から出てくる瞬間を見られた!」と驚いた様子で話していました。

※24ページに関連記事あり



▲網とバケツを持って生物調査



「広報とよおか」は、環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。